

マスメディアを題材に 授業を作ろう

模擬授業者

佐藤正寿(岩手県奥州市立水沢小学校)

ファシリテータ

松橋尚子(世田谷区立砧小学校)

宮内 智(さいたま市立大谷場中学校)

影山知美(岡山県津山市立西小学校)

石井 聡(岡山県岡山市立五城小学校)

宮脇康一(墨田区立第四吾嬬小学校)

笠原晶子(群馬県前橋市立桂萱東小学校)

西田光昭(千葉県柏市立土南部小学校)

上杉圭子(静岡県富士市立元吉原小学校)

メインファシリテータ

高橋伸明(岡山県総合教育センター)



(課題 0) グループ内で自己紹介 をしよう

- ・ リーダーから順に話しましょう
(一人30秒程度)
 1. 名前
 2. 所属
 3. 今の心境を短い言葉で

例 メディつき実践に意欲満々

「一つでも多くのコツをつかみたい」

例 堀田先生のファン，今日初めて会った

「ナマほりたんに会えて感激！」



ワークショップですること

- ◆ マスメディアを題材にした模擬授業を体験する。
- ◆ 模擬授業を参考に，授業を考える。



(WS前半)

模擬授業の体験と 授業分析



模擬授業 1

「コマースシャルの仕組み」

授業者：

岩手県奥州市立水沢小学校

佐藤 正寿



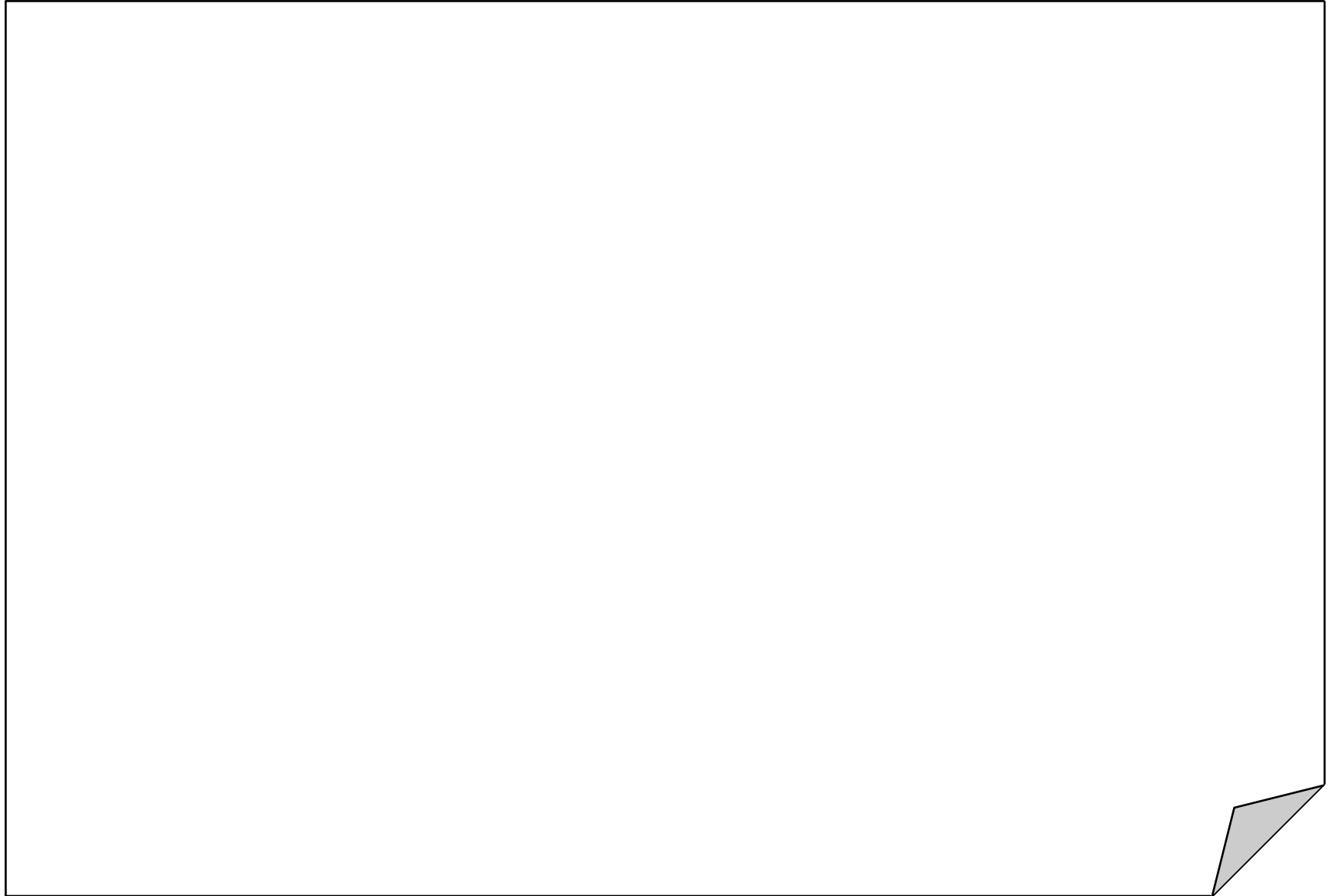
模擬授業 1

「コマースシャルの仕組み」

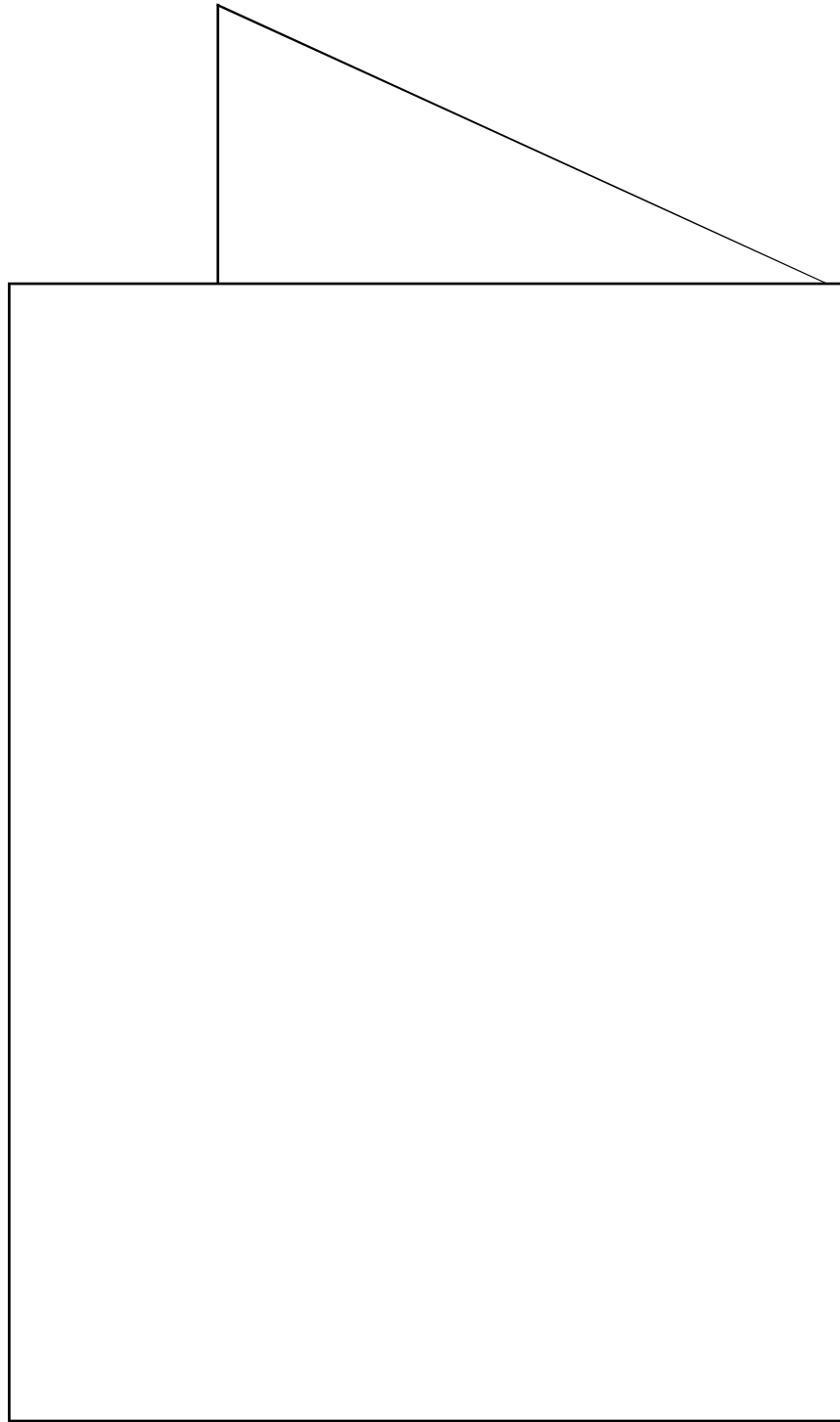
- ・ 児童生徒になったつもりで体験
- ・ 終了後に分析
 - 「何を教える授業だったか」
 - 「それを教えるために、授業者はどんな工夫をしていたか」



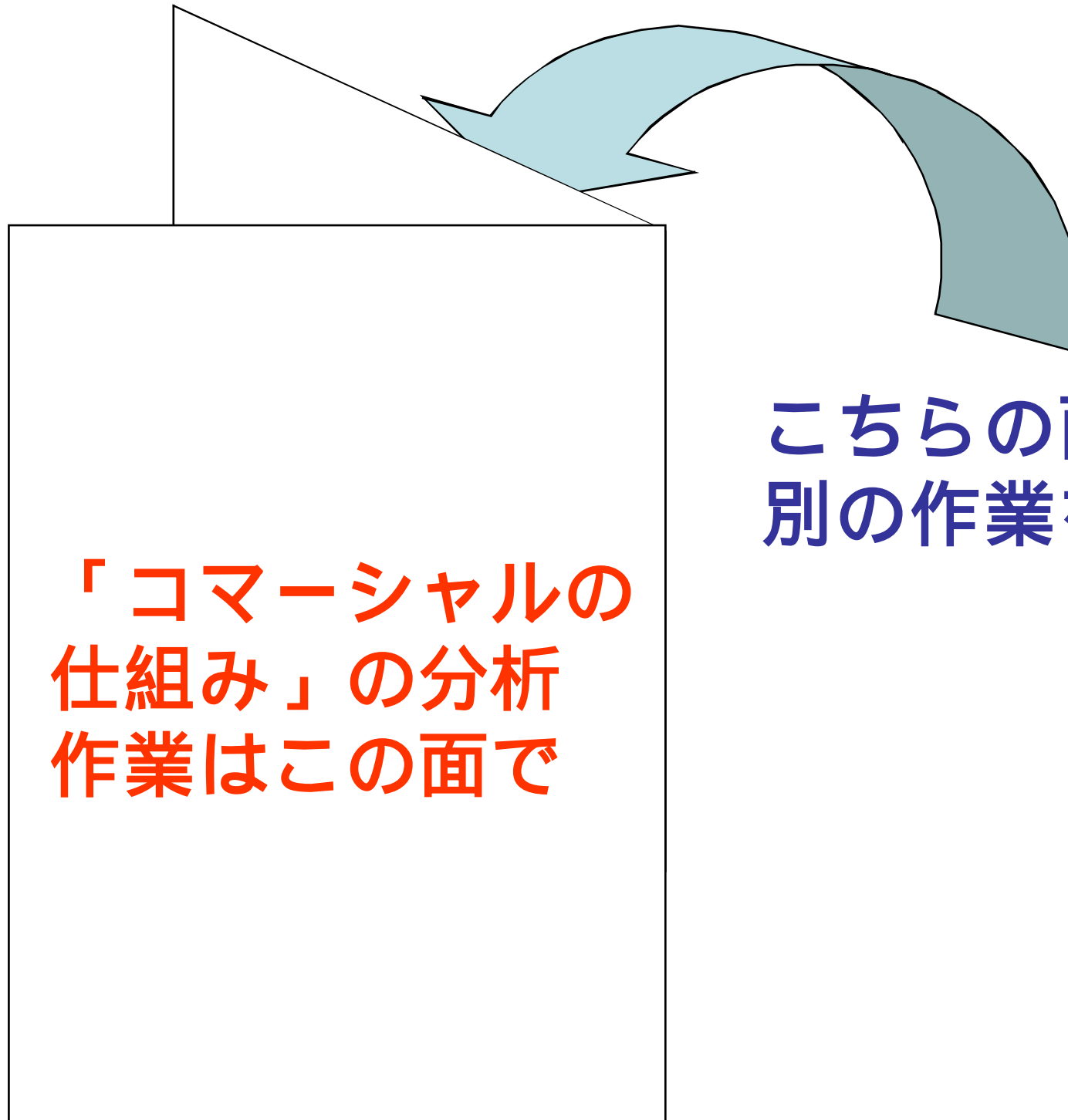
模造紙



模造紙

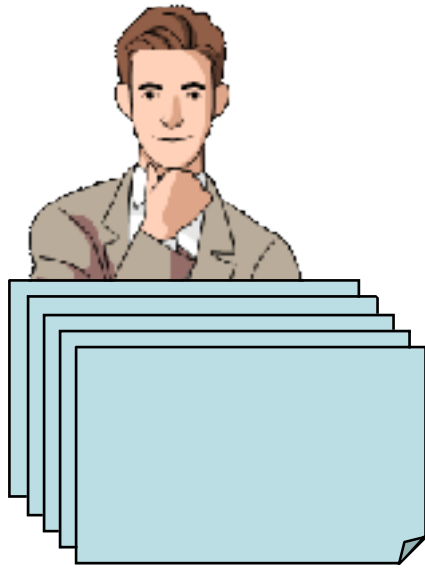


模造紙

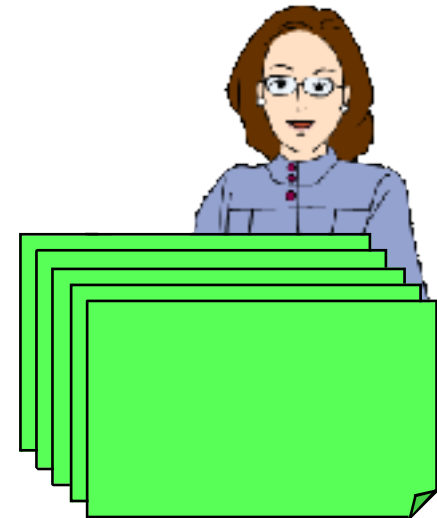


「コマースシャルの
仕組み」の分析
作業はこの面で

こちらの面では
別の作業を



付箋紙の色は、一人一人
決めて使う



模擬授業 1

「コマーシャルの仕組み」

- ・ 教えることは何でしたか？
 - コマーシャルは、見る側をひきつけるために、意図をもって作られていること



教えること

コマーシャルは、見る側をひきつけるために意図をもって作られていること

(課題1)

それを教えるために、
授業者はどんな工夫
をしていましたか？

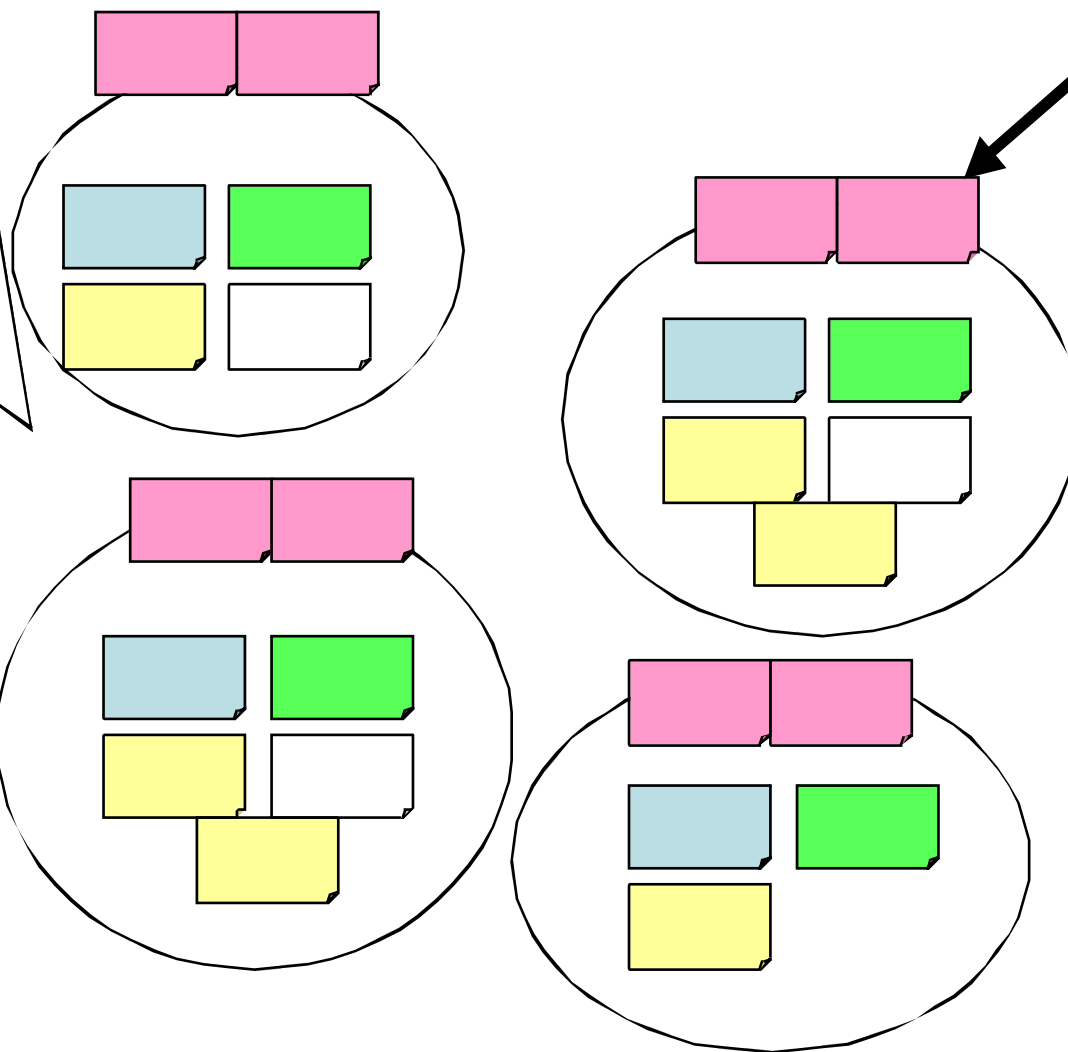
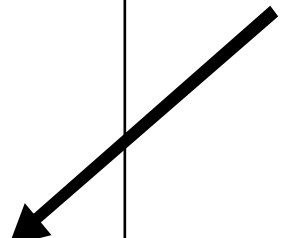
付箋紙1枚に1項目

2分

教えること

コマーシャルは、見る側をひきつけるために意図をもって作られていること

見出し



(課題2)
工夫を集約・分類
しましょう。

7分

模擬授業 2

「違う表現はなぜ？」

新聞記事を読み解く」

授業者：

岩手県奥州市立水沢小学校

佐藤 正寿



模擬授業 2

「違う表現はなぜ？ 新聞記事を読み解く」

- ・ 児童生徒になったつもりで体験
- ・ 終了後に分析
 - 「何を教える授業だったか」
 - 「それを教えるために、授業者はどんな工夫をしていたか」



模擬授業 2

「違う表現はなぜ？ 新聞記事を読み解く」

- ・ 教えることは何でしたか？
 - 新聞の情報は、送り手の意図によって表現の仕方に工夫が加えられているということ



教えること

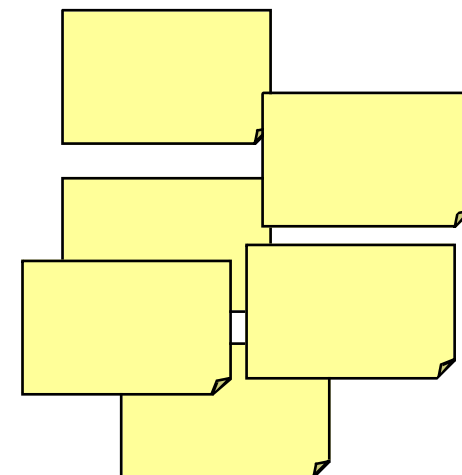
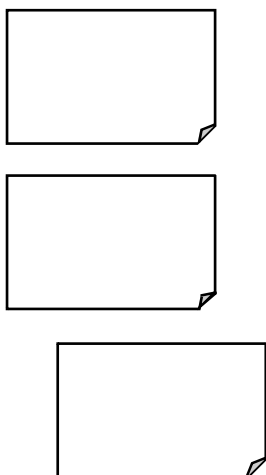
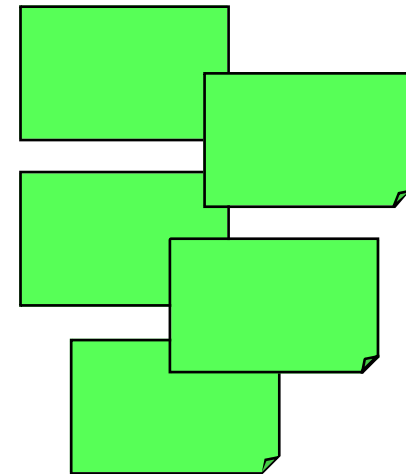
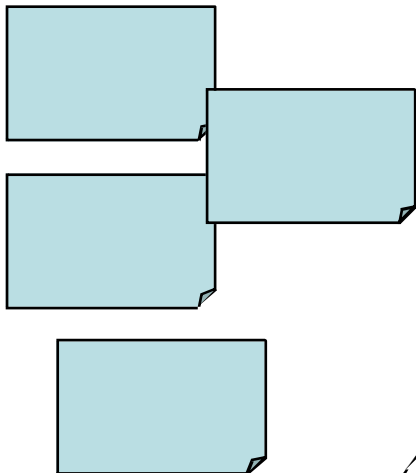
新聞の情報は、送り手の意図によって表現の仕方に工夫が加えられているということ

(課題 3)

それを教えるために、授業者はどんな工夫をしていましたか？

付箋紙 1 枚に 1 項目

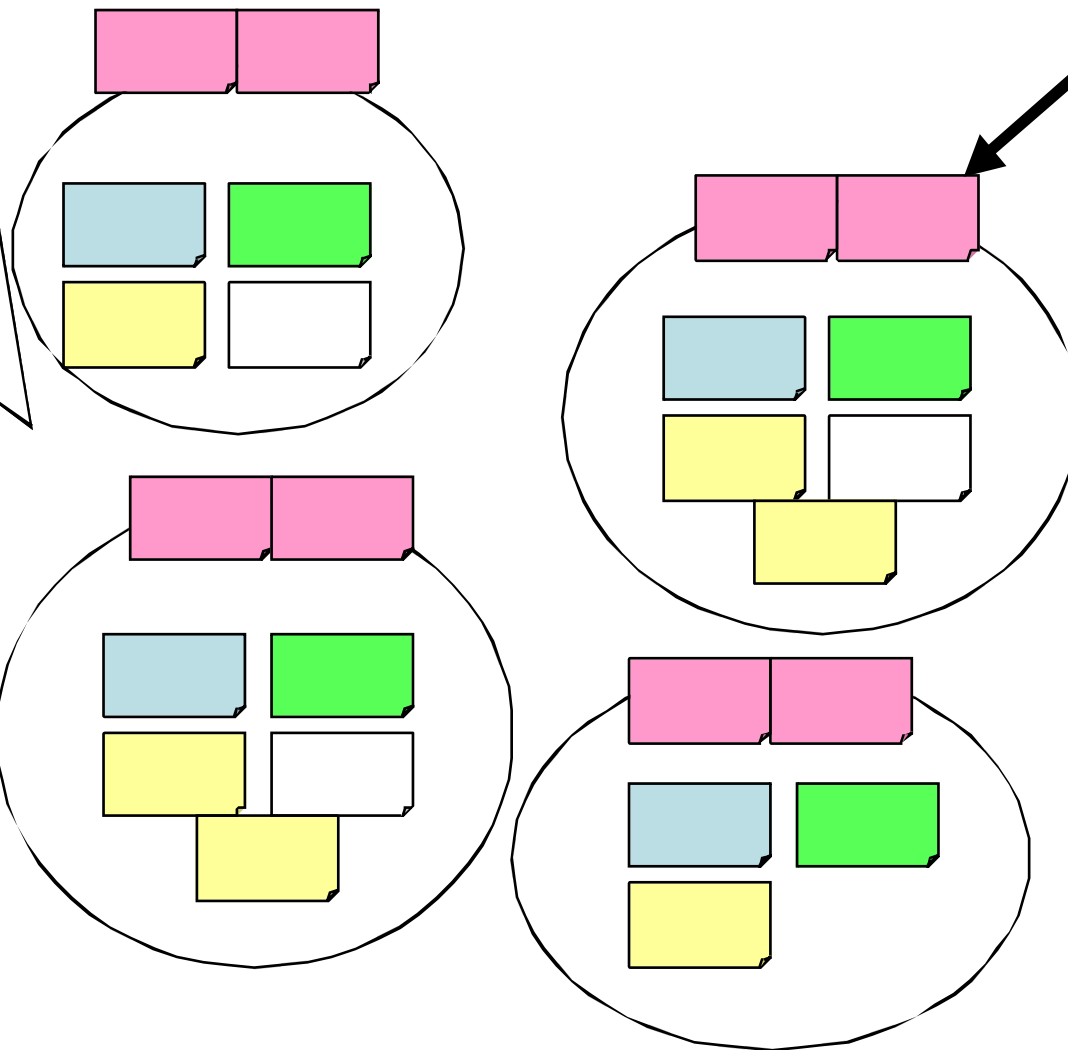
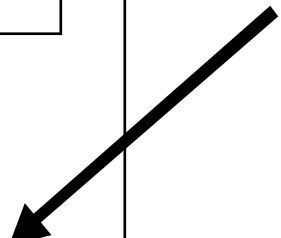
1 分



教えること

新聞の情報は、送り手の意図によって表現の仕方に工夫が加えられているということ

見出し



(課題4)
工夫を集約・分類
しましょう。

3分

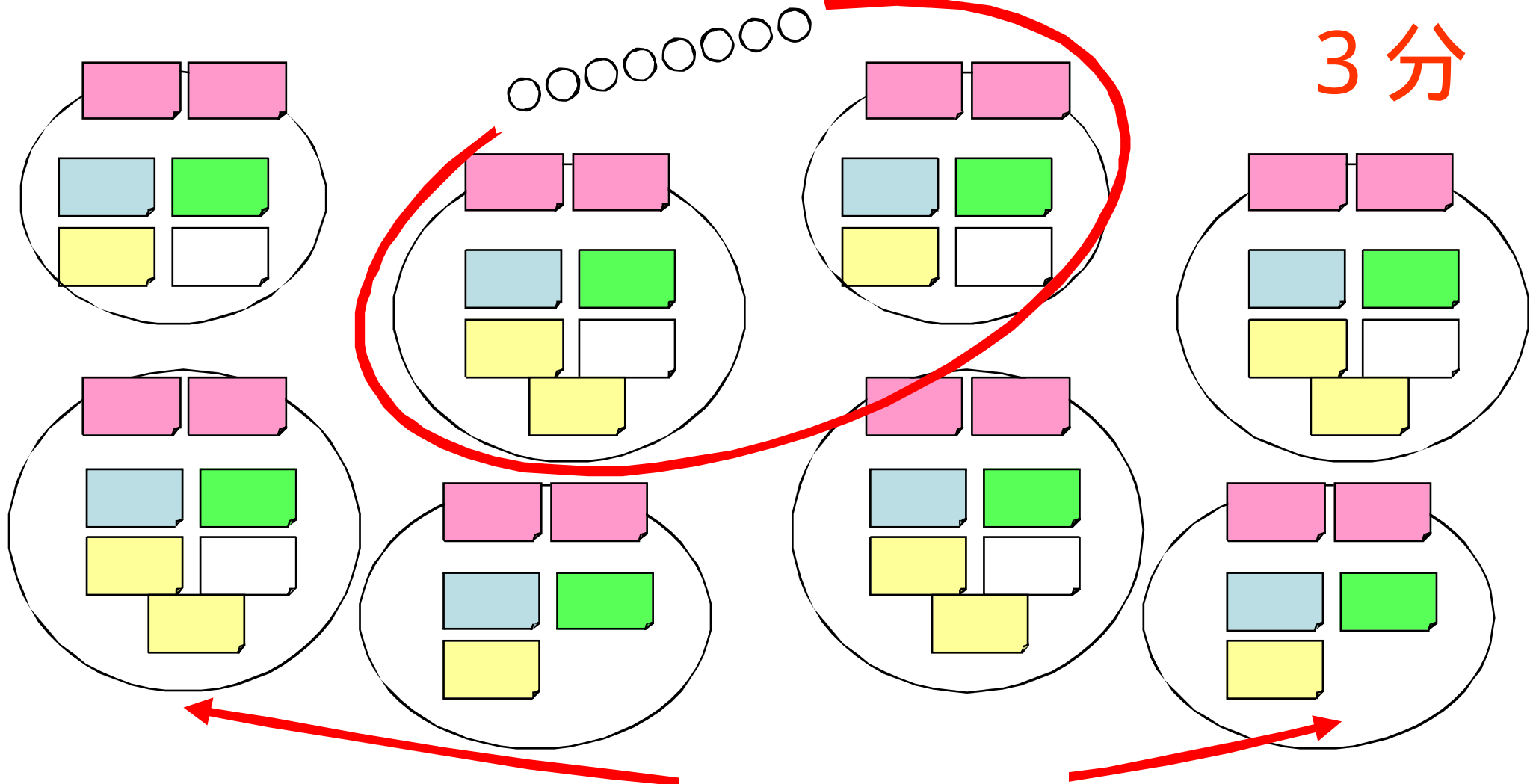
(課題 5) 二つの授業の工夫，共通点を 短い言葉で表しましょう。

教えること

コマーシャルは，見る側をひきつけるために意図をもって作られていること

教えること

新聞の情報は，送り手の意図によって表現の仕方に工夫が加えられているということ



共通点を発表しましょう。



授業者が考えた共通点

- ・ 送り手（作り手）の意図が分かりやすい教材を選択（教材研究）
- ・ 送り手の意図に気づかせるような発問，視点を明確にした分析（指導法研究）
- ・ メディアの特性を生かす（素材研究）



(課題6)

マスメディアを題材にした
授業の良さを話し合いましょ
う。

グループで2分間



良さを
発表しましょう。

1グループ



マスメディアを題材にした 授業づくりの留意点

- ・ 受け手の立場で情報を分析する活動を入れる
- ・ 送り手の意図，意図を効果的に伝えるための工夫を見つける活動を入れる
- ・ メディアの特性に気づくこと，または自分が送り手となる場合にメディアの特性を生かすことを目標にする



(WS後半)

授業づくり



(課題7) マスメディアを題材にした 授業を考えましょう。

13分 例

- ・模造紙一枚へまとめる
- ・形式はお任せ
- ・次のことは示す
 - ・学年，教科（時間枠）
 - ・題材にするマスメディア
 - ・教えること
 - ・学習活動

先ほど「授業者の工夫」としてまとめた言葉（ピンク）を、該当箇所へ貼る

・ 学年，教科（時間枠）

・ 題材にするマスメディア

・ 教えること

・ 学習活動

1. [] []

2. [] []

3. [] []

4. [] []

5. [] []

The form consists of a list of items to be planned for. Each item has two adjacent pink rectangular boxes next to it, intended for students to paste their lesson planning notes. Red arrows from the text box on the left point to these boxes for items 1, 2, 4, and 5.

ここで言うマスメディア

- ・ 特定少数の送り手から不特定多数の受け手へ向けての情報伝達手段

- テレビ (例 ニュース, ドラマ, アニメ, CM, ...)

- 新聞

- 雑誌

- ポスター

等々



送り手と受け手

- ・ 全ての授業で「送り手」「受け手」両方の立場を色濃く体験する必要はない
 - **例** 新聞を分析（受け手） 新聞づくり（送り手） **いくら指導時数があっても足りない**
- ・ **例** 毎日朝の会で新聞を分析（受け手）
国語「新聞作り」で生かす（送り手）
 - 毎時間「送り手」の学習活動はしないけど、先々では「送り手」の力を育てることも念頭に活動を！



できあがった授業を
ブロック内で紹介しましょう。

1グループ 2分



同じ題材を扱った
授業プランを二つ紹介します。
Cグループ, Lグループ

1グループ 2分



まとめ



まとめ

- ・ マスメディアは身近にある有効な題材
- ・ マスメディア情報の送り手はプロ
 - プロの技を分析し，気づいたことを自分が送り手となって生かすことは大変有効
- ・ 送り手の意図に気づく力を身に付けることは，メディアが伝える情報に翻弄されない，上手なつきあい方を身に付けることにつながる

